

平成 24 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	020100	TEL	2998-9046
事業コード	姉妹都市学生交流事業	企画総務課				
020111						
開始年度	平成 3 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	国際交流			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	
	分野別計画・指針					
	関連・類似事業	中学生海外文化交流派遣事業				
	総合計画の体系	章	コミュニティ	節	国際社会	基本方針
事業開始の背景	青少年に国際感覚を身につけさせ、国際社会に対応する人材を育成することを目的に、姉妹都市交流事業の一環として、平成3年から米国・ディケイター市、平成11年から韓国・安養市との高校生の相互交流を始めた。					

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)					
	姉妹都市に高校生を派遣し、社会、文化等の交流を通して、外国人との相互理解を深めていくとともに、将来を担う青少年に広い視野から郷土、国家、国際社会を理解させることにより、次代を築く人材を育成していく。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)					
	市内高校生	対象数	単位	平成 22 年度	9,220	人
			平成 23 年度	9,450	人	
事業の具体的な内容及び実施方法						
所沢市から高校生を姉妹都市である米国ディケイター市へ派遣し、一般家庭での2週間程度のホームステイを体験し、生活習慣や文化を体験する。また、ディケイター市からの高校生は所沢市内の家庭でホームステイし、日本の生活習慣や文化に触れ交流を深める。高校生が姉妹都市であるディケイター市を訪問し、さまざまな体験をすることにより、姉妹都市としての親睦をさらに深めるとともに、文化や生活習慣等の違いを理解し、今後の国際社会に対応できるようにする。						

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 22 年度 (千円)	平成 23 年度 (千円)	平成 24 年度 (千円)	
	当初予算		1,847	897	892	
	決算(見込み含む)		1,645	866		
	(非常勤特別職員)	(臨時の任用職員)	(人)	(人)	(人)	※「財源内訳」について平成24年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	正規職員人件費		0.41 人	3,797	0.40 人	
	事業費合計		5,442	4,542		
財源内訳	一般財源		5,442	4,542	892	
	国・県支出金					
	その他()					

⑤実績・成果	項目名	計算方法	単位	H 22	H 23	H24見込み	将来目標		
	活動実績	高校生派遣	派遣学生数	人	6	6	0	10	
		高校生受入れ	受入れ家庭数	世帯	11	0	12	16	
	成果指標	派遣学生の帰国後の国際交流事業への参加人数	高校生派遣経験者(前年度以前の者も含む)で国際交流事業へ参加したのべ人数	人	目標値	12	12	6	20
				%	実績	12	9	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」の拡大を図る	
				%	達成率	100	75	<input type="checkbox"/> 「実績」の縮小を図る	
昨年度中に改善した点									
ディケイター市姉妹都市委員会に対する補助金が大幅に削減される見込みであること、また、ディケイター市姉妹都市委員会のスタッフはボランティアであり、現行の学生交流の実施方法だと負担が大きいという状況があり、H23年度以降の学生交流については、事業の趣旨を尊重しつつ、財政的な負担等を軽減することができるという理由から、隔年での相互交流とすることとした。									

⑥評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方今向後の事業の実施方法	事業の活動(回数、範囲など)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持
			次年度予算		<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他()
					<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	評価理由と今後の方向性(課題と対応)				
国際化が進むなかで、将来を担う高校生が国際感覚を身につけることは重要なことである。姉妹都市である米国・ディケイター市との間でのホームステイによる交流は、文化や生活習慣のちがいが、同年代のもの考え方などを理解できることから必要と考える。					
事務改善ミーティングで示された意見とその対応 意見: 外交問題等により国家間の関係がぎくしゃくした時でも、姉妹都市との友好関係を維持するということは姉妹都市交流のひとつの大切な目的だと思われる。そういった際には民間交流のほうがスムーズに実施できることもあるので、交流事業の実施を民間、予算を市役所とすることで、緊張時においても友好交流事業が実施しやすい環境を作ってはどうか。 対応: 所沢市においては国際友好委員会がその役目を担っている。ディケイター市の学生交流については、学生の安全確保の観点からも市での実施が妥当と思われる					
評価日	H24.6.1	評価者職氏名	企画総務担当 本田静香		

⑦環境影響	原因活動(姉妹都市学生交流事業)	原因活動(紙の使用、派遣学生の送迎等)	規制を受ける主な環境法令等の名称
	<input type="checkbox"/> 国際交流活動の促進	有益な環境影響(重大なものには○)	天然資源(森林・化石燃料)の減少 <input checked="" type="checkbox"/>
		有害な環境影響(重大なものには○)	廃棄物の排出 <input type="checkbox"/>
			公害(大気汚染・騒音等)の発生 <input type="checkbox"/>
		その他(地球温暖化) <input checked="" type="checkbox"/>	有害な影響を与える緊急事態の内容
		その他() <input type="checkbox"/>	